

平成27年中における自殺者の実態について (暫定値)

秋田県警察本部
生活安全企画課

- 1 平成27年中の自殺者数は278人で、前年と比較して1人(0.4%)増加しました。
- 2 年代別では、50代と70代がそれぞれ52人(18.7%)で最も多く、次いで80歳以上が49人(17.6%)と続いています。
- 3 65歳以上の高齢者は131人(47.1%)となり、前年と比較して14人増加となっています。
- 4 男女別では、男性が198人、女性が80人となっています。
- 5 原因・動機別では、健康問題が111件(34.6%)で最も多く、次いで経済・生活問題が40件(12.5%)と続いています。
- 6 職業別では、無職者(学生・生徒を含む)が185人(66.5%)で最も多く、次いで被雇用者・勤め人が64人(23.0%)、自営業・家族従事者28人(10.1%)となっています。
- 7 月別では、最多が8月の30人で、最少は11月の15人となっています。

※ 平成19年に警察自殺統計の集計要領が改正され、遺書等で自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機について、1人につき3つまで計上することができることとなったため、原因・動機別数と自殺者数とは一致しません。

※ 職業別の学生・生徒については、大学生、専修学校生等(予備校生・専門学校生等)も含まれます。

平成27年中における自殺者の実態について

1 概要

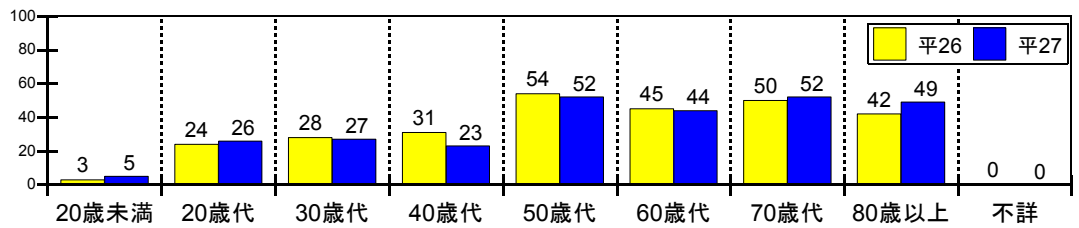
平成27年中の県内における自殺者は278人で、前年と比較して1人(0.4%)増加した。このうち高齢者(65歳以上)は131人で、全体の47.1%を占めており、前年比で14人増加している。

年 別	平成26年	平成27年	増 減
自殺者数	277人	278人	+1人(0.4%)

2 特徴等

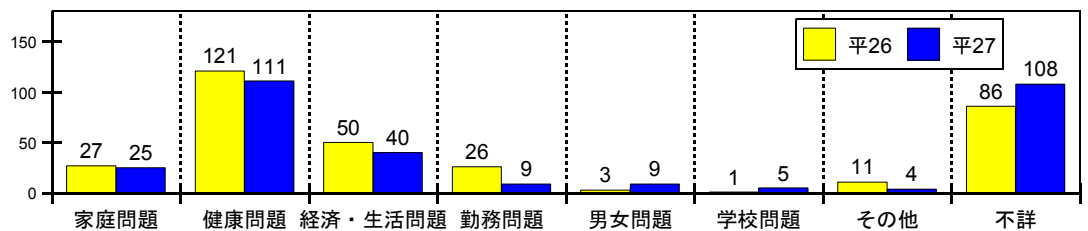
(1) 年齢別

50代と70代がそれぞれ52人(18.7%)で最も多く、次いで80歳以上が49人(17.6%)である。



(2) 原因別

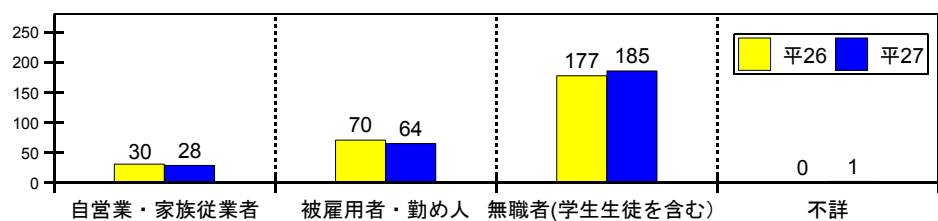
健康問題が111件(34.6%)で最も多く、次いで経済・生活問題が40件(12.5%)である。



※ 原因・動機別については、複数計上のため自殺者数とは一致しない。

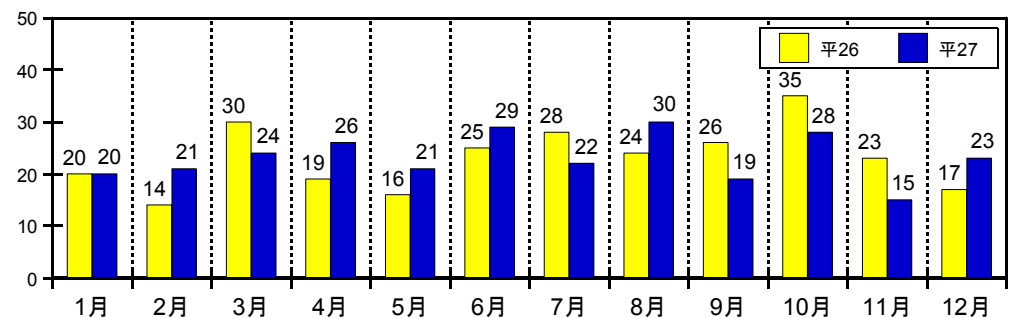
(3) 職業別

無職者(学生生徒を含む)が185人(66.5%)で最も多く、次いで被雇用者・勤め人が64人(23.0%)、自営業・家族従業者が28人(10.1%)である。

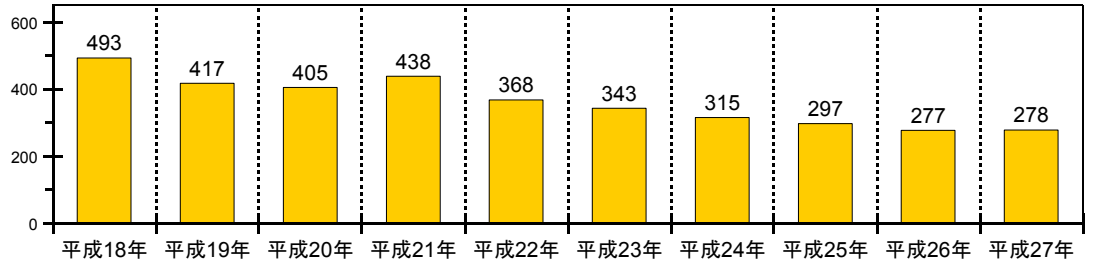


(4) 月別

最多が8月の30人で、最少は11月の15人となっている。



(5) 過去10年間の自殺者数



	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
自殺者数	493	417	405	438	368	343	315	297	277	278
前年比		-76	-12	33	-70	-25	-28	-18	-20	1

(6) 各警察署取扱件数

大仙警察署が43人で最も多く、次いで秋田中央警察署が31人、横手警察署が30人である。

